

授業科目名・形態	社会保障論 I	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	中里操・脇山園恵	開講期	2年前期	単位数	2

【授業の主題】

本講義は、社会福祉概論の学びを基礎に、生存権保障の理念を具体化した国民の生活を保障するセーフティーネットとしての社会保障制度について解説する。社会保障制度は歴史的に形成された制度であり、その意味で時代と社会に規定されて変容するものである。国民の健康で文化的な最低生活を保証するための制度が、なぜ必要なのか、どのような内容が求められるのか制度の目的や機能について、またそれを実現するための具体的な方法と、社会保障制度・政策、行政における問題と課題、展望について解説する。社会福祉関連の職務に於いて必須の基礎知識である。

【到達目標】

1. 社会保障制度の歴史を通して、制度的・政策的対策の必然性に理解する。
2. 社会保障制度・政策の概念（理念、目的、機能・役割、実施方法等）を理解する。
3. 社会保障制度の仕組みと財政構造を理解する。
4. 社会保障の実施方法としての社会保障制度体系を理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション（社会保障の必要性・不可欠性）（中里）
 第2回 社会保障とは（社会保障の定義と目的、機能、社会保障と憲法）（中里）
 第3回 社会保障の歴史①（貧困問題対策：救貧法から年金制度へ）（中里）
 第4回 社会保障の歴史②（年金制度から社会保障制度へ）（中里）
 第5回 社会保障の歴史③（日本の社会保障の歩み、憲法と社会福祉・社会保障）（中里）
 第6回 社会保障の歴史④（福祉国家と社会保障；基本的人権と社会保障）（中里）
 第7回 社会保障の歴史⑤（「日本型福祉と社会保障の変容」）（中里）
 第8回 社会保障の構造①（社会保障の仕組み、制度の役割や機能、給付と負担）（中里）
 第9回 社会保障の構造②（社会保障政策と社会保険、年金・医療・介護・労働関連）（脇山）
 第10回 社会保障の構造③（社会保障と社会保険、社会扶助）（脇山）
 第11回 社会保障の財源と費用①（社会保障の費用、費用の規模と内訳）（脇山）
 第12回 社会保障の財源と費用②（社会保障の財源と財源の構成、国と地方の役割）（脇山）
 第13回 社会保障の財源と費用③（社会保障と国民経済、国民の費用負担率）（脇山）
 第14回 社会保障制度の体系①（公的年金制度の概要と、沿革）（脇山）
 第15回 社会保障制度の体系②（近年の年金問題と制度改正）（脇山）

【授業実施方法】 基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

前回の講義内容を復習復讐する。テキスト、配布資料等の講義予定箇所を読み専門用語概念などについて調べておく。疑問点を整備しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、目を通し自分なりの理解と説明ができる状態で主体的準備をする。

【主な関連する科目】 社会福祉概論、 公的扶助論、 福祉行財政と福祉計画

【教科書等】 社会福祉士養成講座編集委員会編『社会保障』（第5版）、 中央法規

【参考文献】 適宜紹介する。

【成績評価方法】 出席状況・レポート 30%、 期試験成績70%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

年々増加・膨張する社会保障費用は、社会福祉・年金制度・医療制度の現状維持を難しくしている。社会福祉については福祉改革による新しい福祉システムが造られてきた。次のステージとして、社会保障改革が進められている。こうした社会的背景の中で、社会保障制度のあり方について正しく認識し、判断していくためには、日常的に社会福祉・社会保障の関連領域まで含めて情報の収集と判断が求められる。社会福祉・社会保障を学び、習得した基礎的知識・技術を更に深めて、専門職として社会に還元するための実践学として積極的に学んでもらいたい。